観光地魅力度調査報告書

令和２年８～９月

～兵庫県全域版～

公益社団法人ひょうご観光本部
Hyogo Tourism Bureau

調査概要

調査目的	観光地にて旅行者の動機や周遊ルート、観光費用等の顧客データを収集、地域ごとの訪問客の属性等の傾向を分析し、地域における観光商品やサービスに対する評価を踏まえ、今後の対策に活かすことを目的とする。
調査地域	宝塚市、姫路市、赤穂市、城崎温泉、湯村温泉、丹波篠山市、淡路島
調査対象者	調査地域を訪れた観光客、宿泊客
サンプル数	1,287
調査手法	QRコードを媒介としたインターネット調査
調査期間	2020年８月～2020年９月

《居住地》
・観光客・宿泊客の約７割が県内と大阪府からの訪問者で、マイクロツーリズムが拡大している。

《旅行目的》
・スポーツ・レジャー体験や文化体験の割合が１割にも満たない状況であり、滞在時間を延ばし、宿泊につなげるためには、体験型コンテンツの開発が不可欠である。

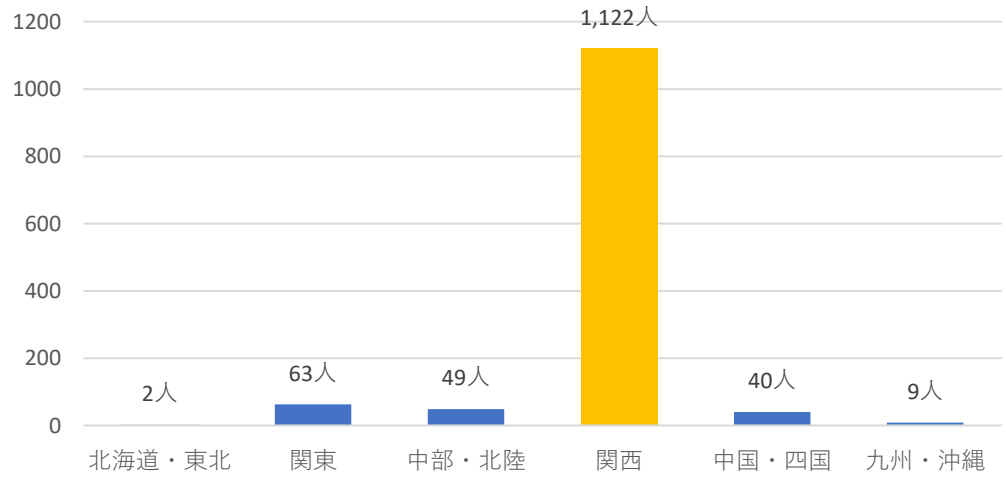
《リピート率・消費額》
・２万円以上の割合が約４割を占めているが、GoToトラベルの効果により、高価格帯の需要が増えたためと考えられる。
・２万円以上の価格帯の約半数を占めるのは、年代では４０代と５０代、リピート率では３回目以上がボリュームゾーンとなっている。

《地域への期待度・地域の満足度》
・体験・アクティビティへの期待度と満足度が低く、体験型コンテンツの開発が重要である。
・Wi-Fiなどインターネット環境への期待度と満足度もやや低く、Wi-Fi環境の充実も必要である。

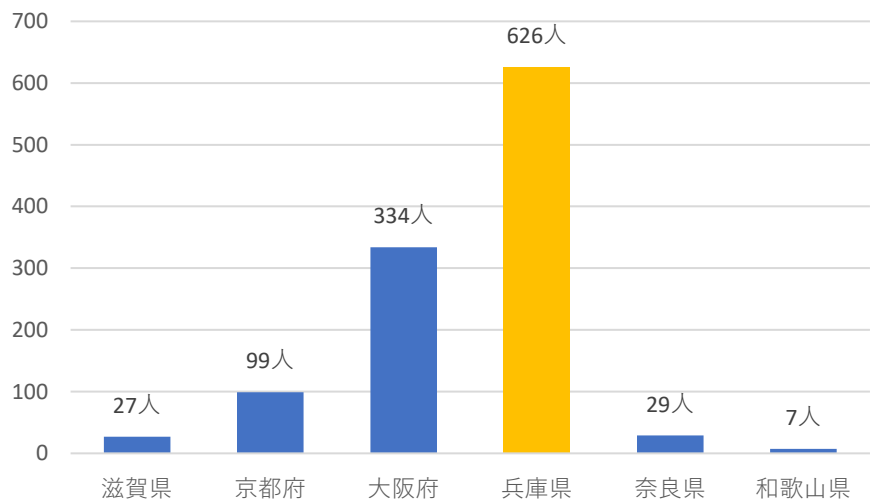
回答者属性

居住地

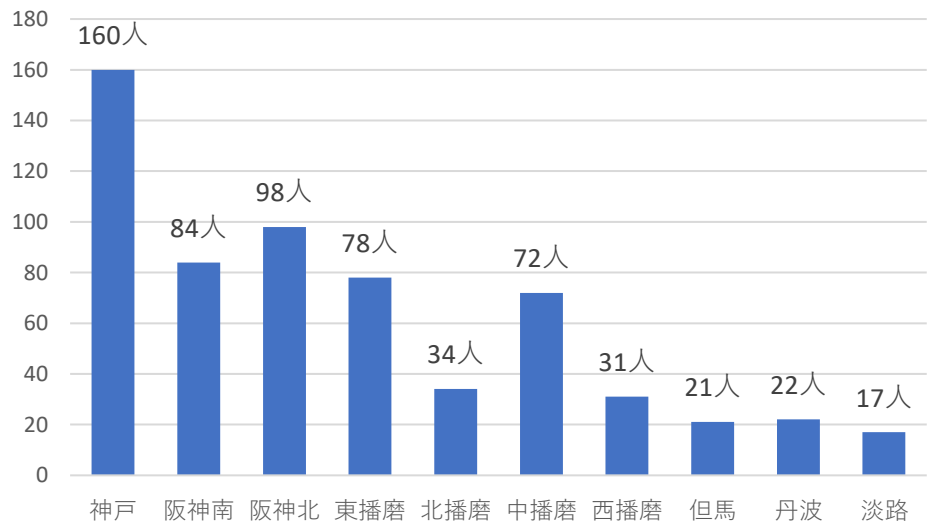
居住地　N=1,285　※不明：2



居住地（うち関西）　N=1,122

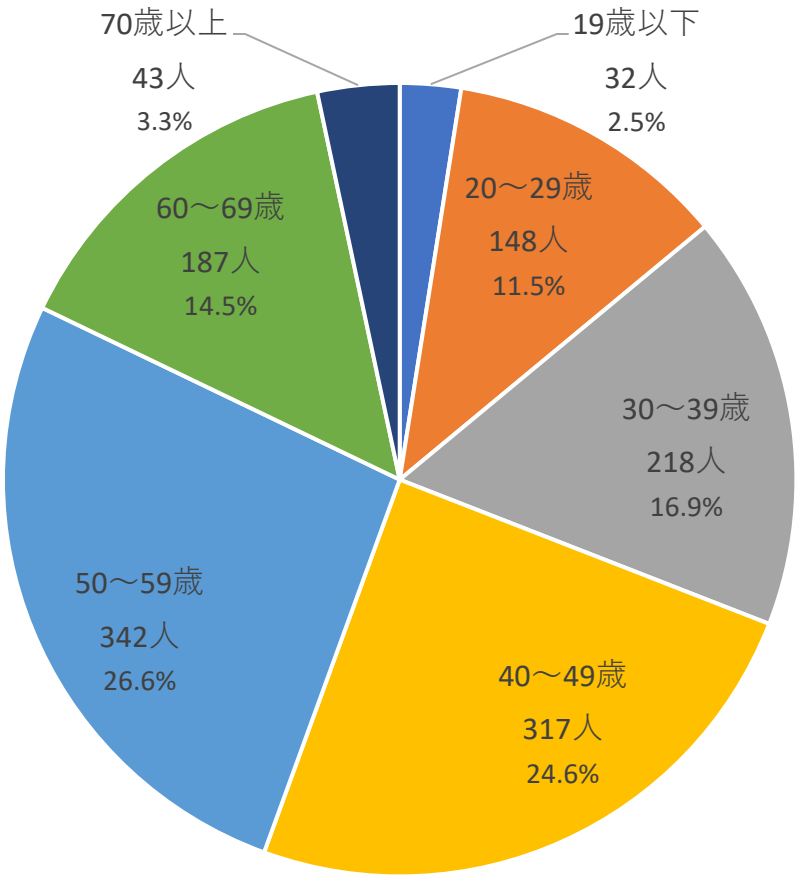


居住地（関西のうち兵庫県内）　N=617　※不明：9



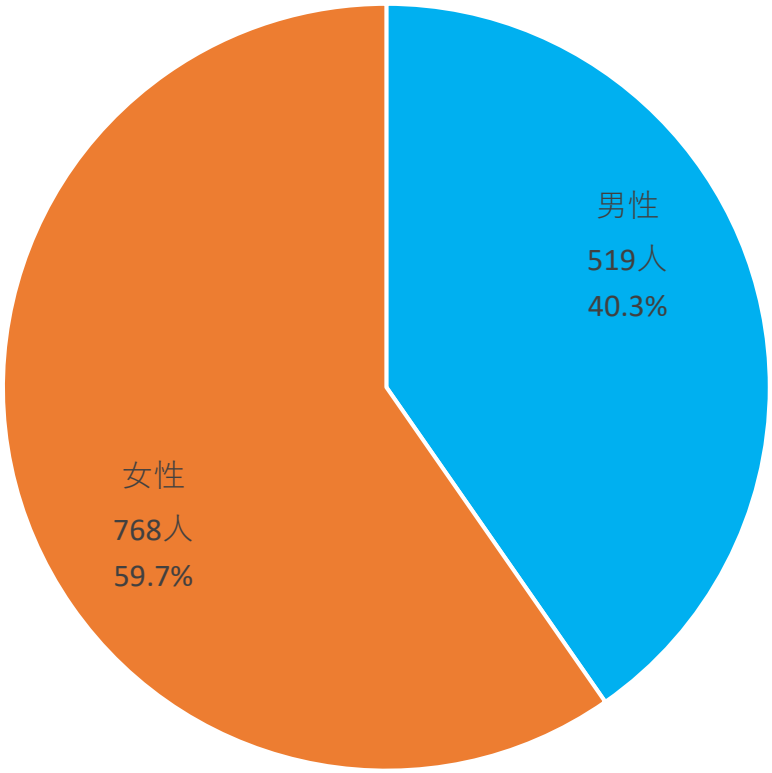
年齢・性別

年齢



N=1,287

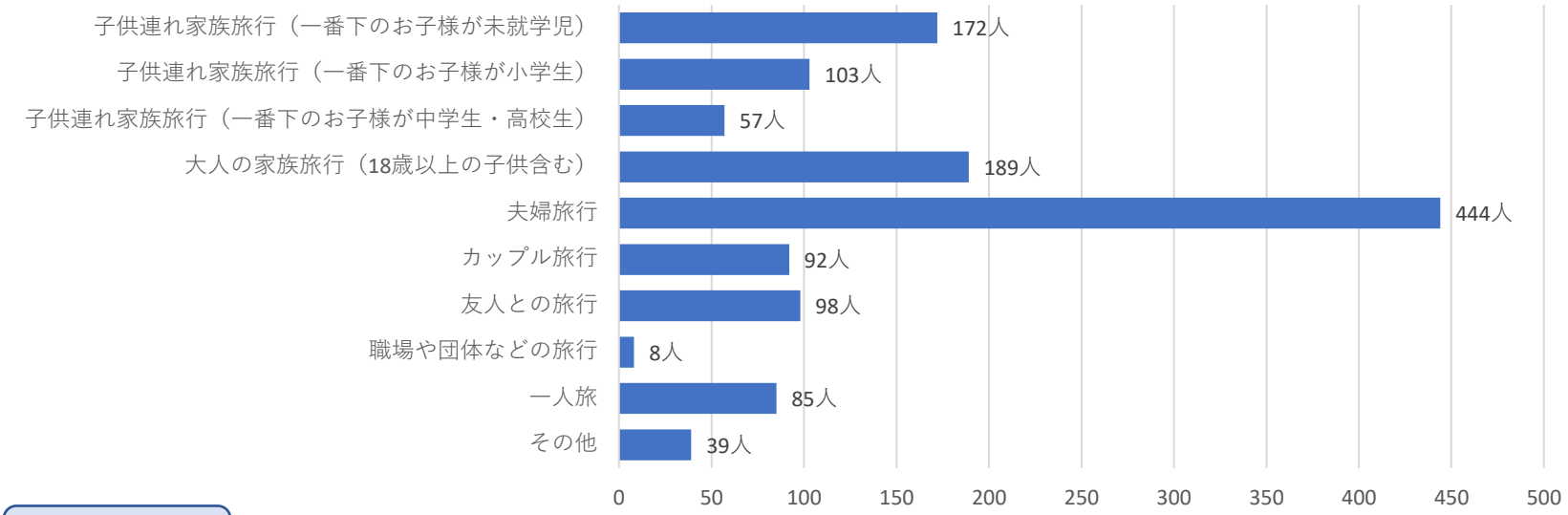
性別



N=1,287

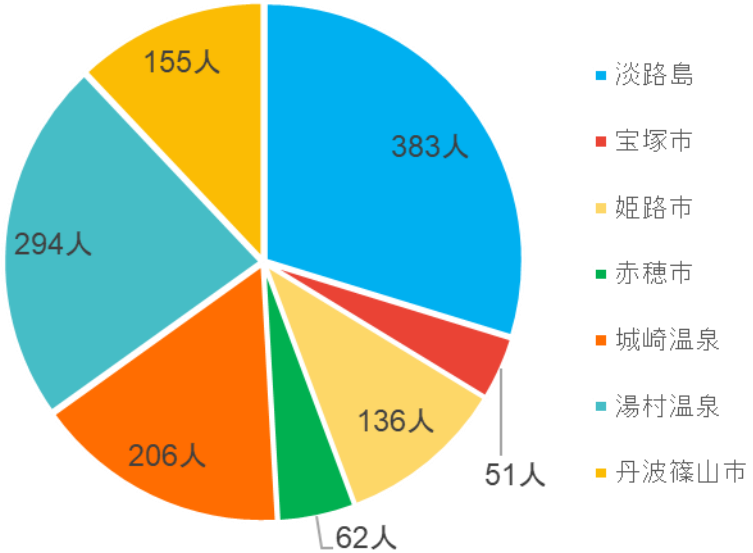
同行者・回答場所

同行者



N=1,287

回答場所

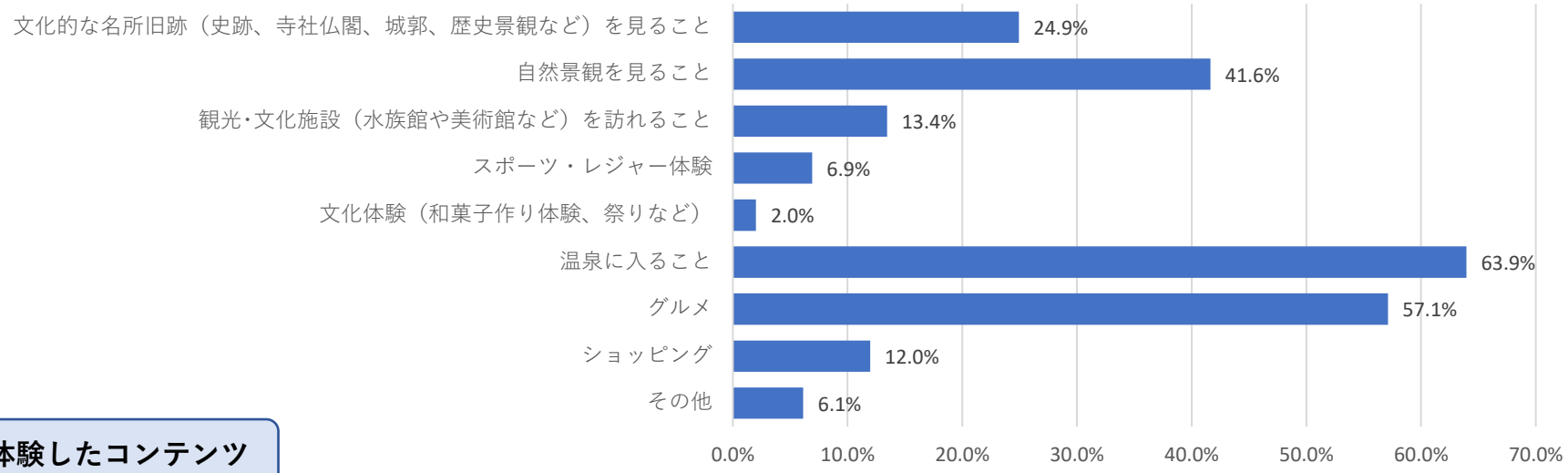


N=1,287

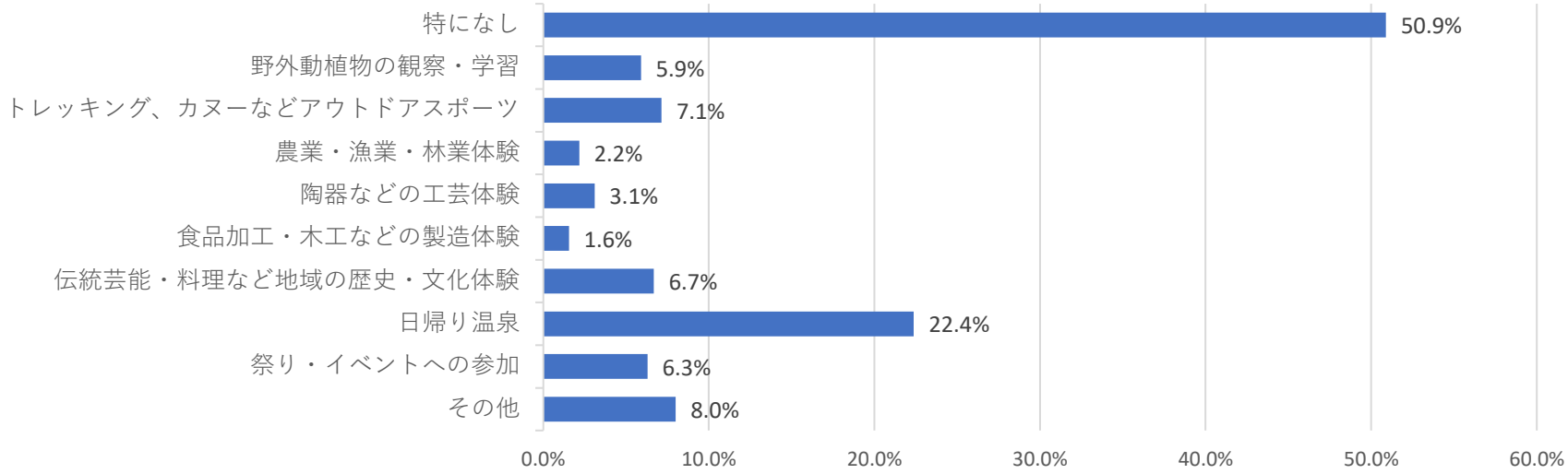
調査結果

旅行目的・体験したコンテンツ

旅行目的



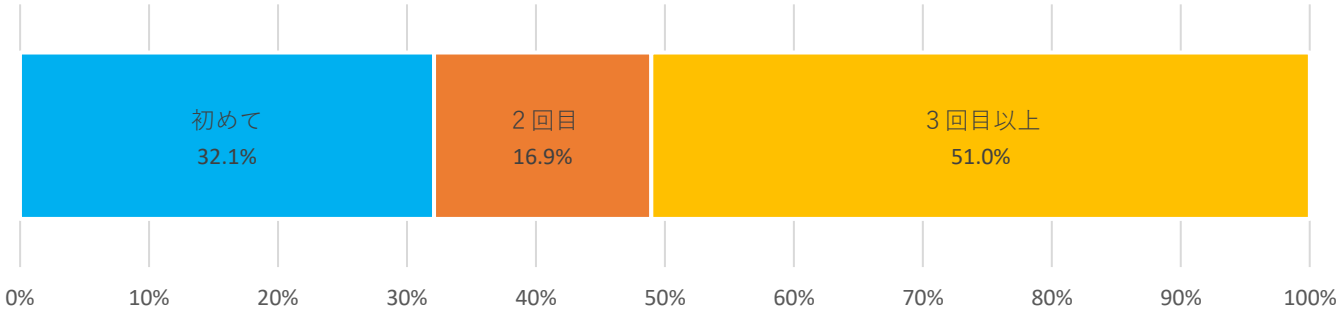
体験したコンテンツ



N=1,287

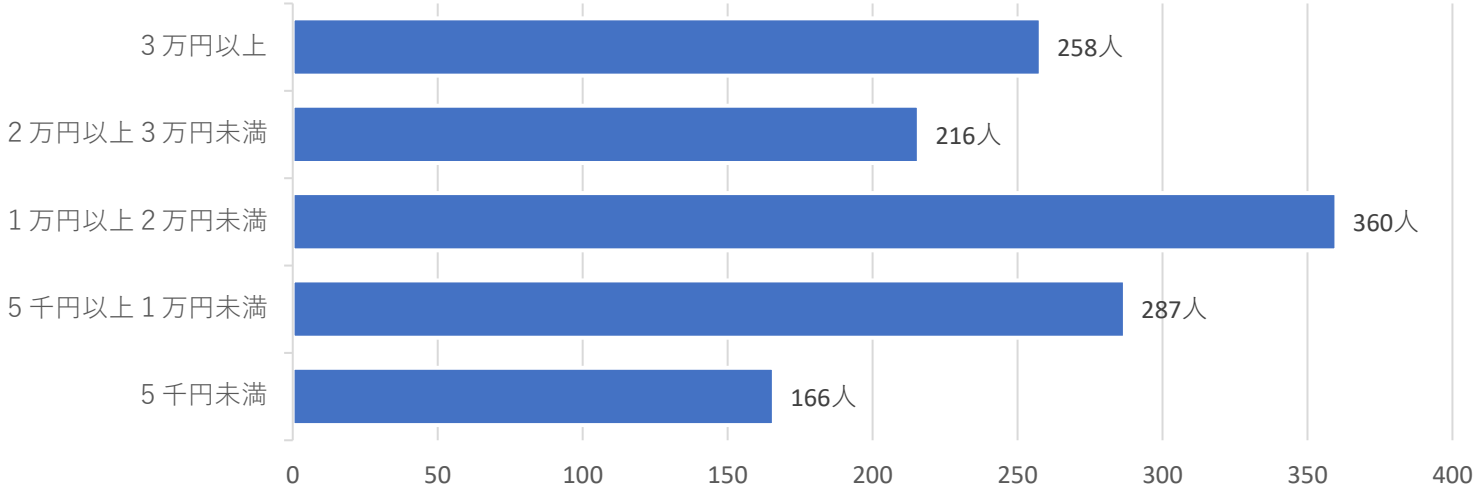
リピート率・消費額①

リピート率



N=1,287

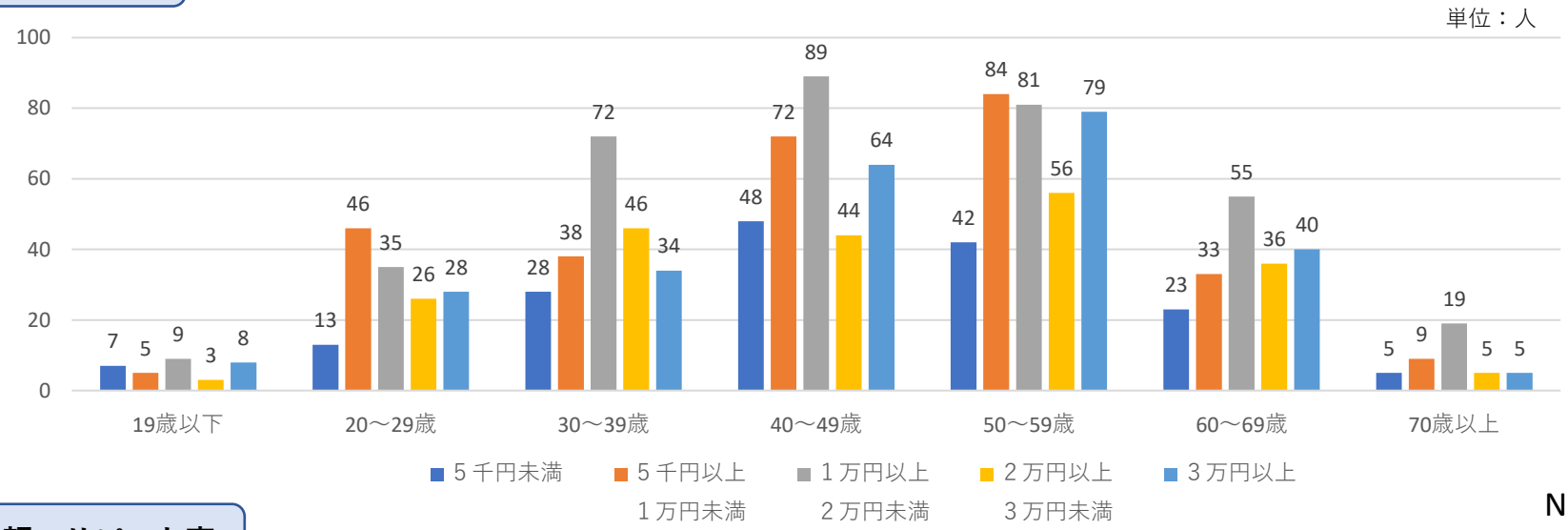
地域内での消費額



N=1,287

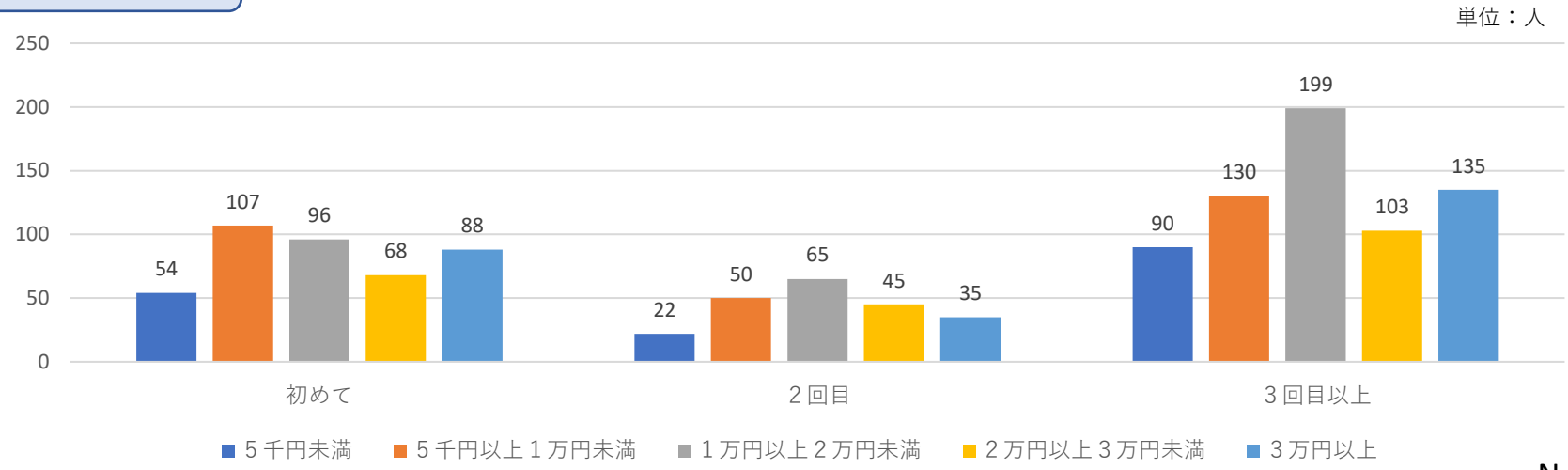
リピート率・消費額②

消費額×年代



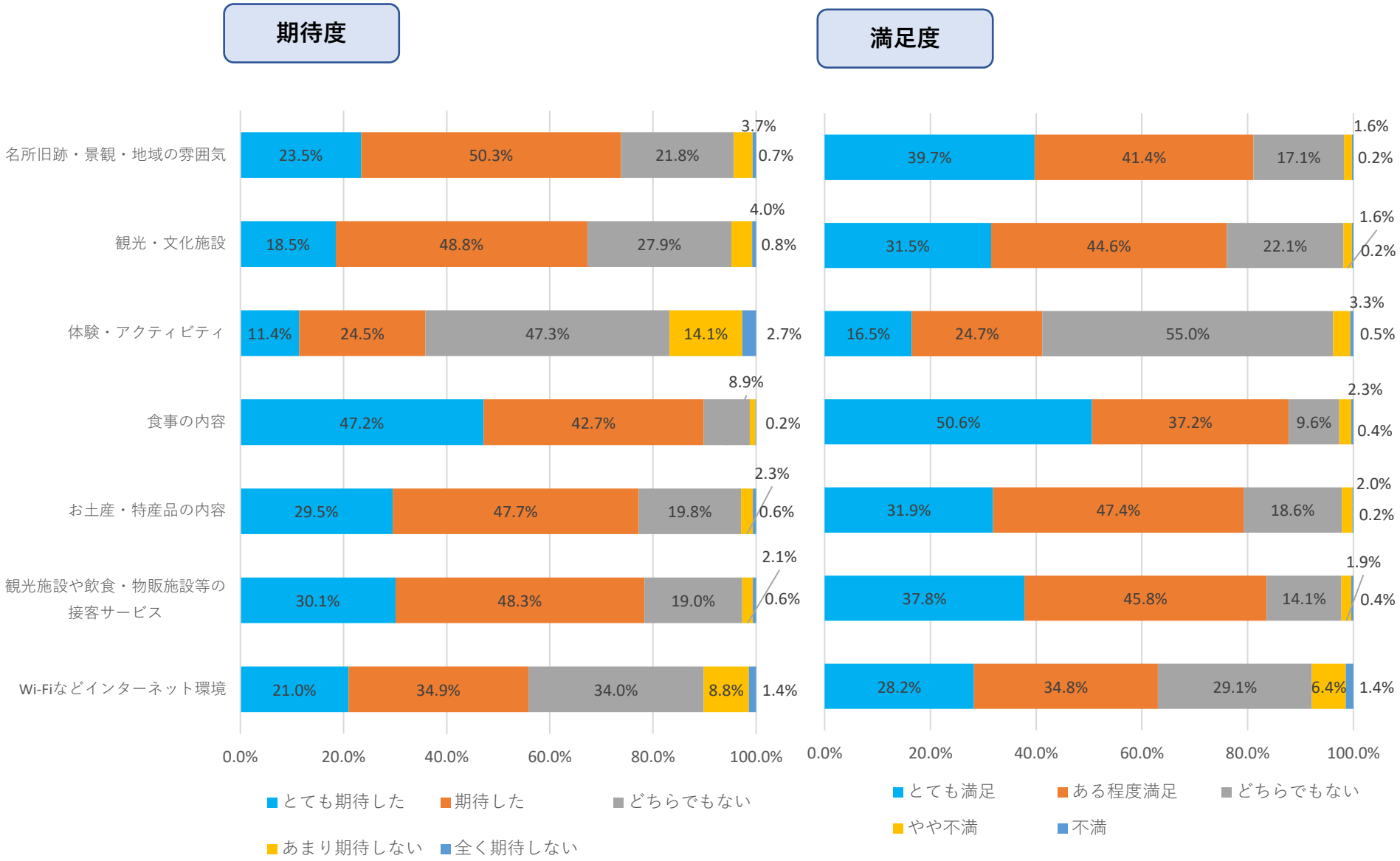
N=1,287

消費額×リピート率



N=1,287

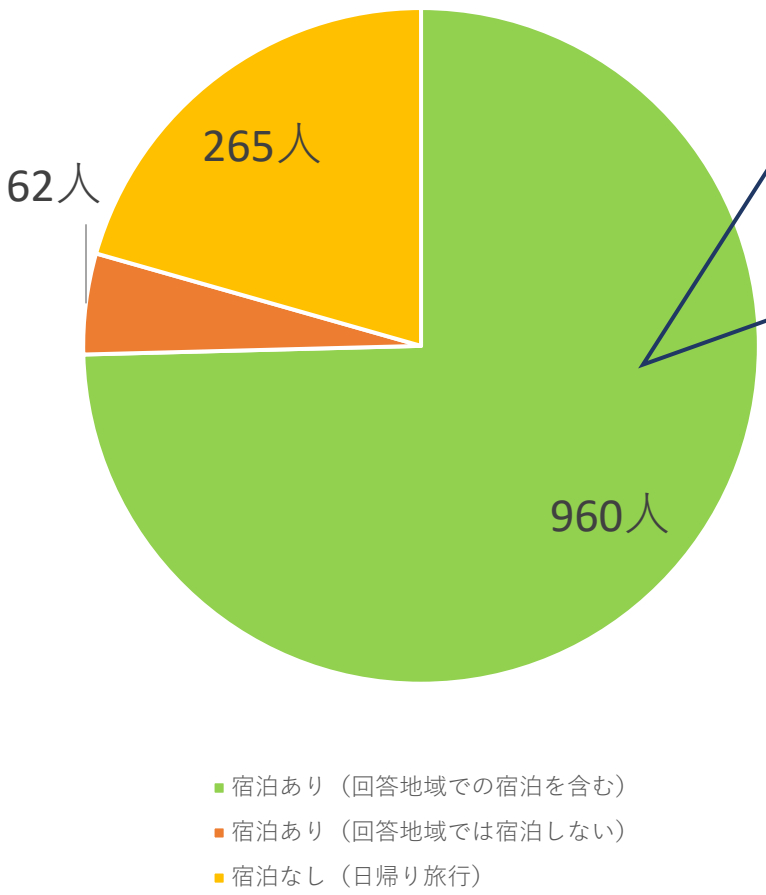
地域への期待度・地域の満足度



N=1,287

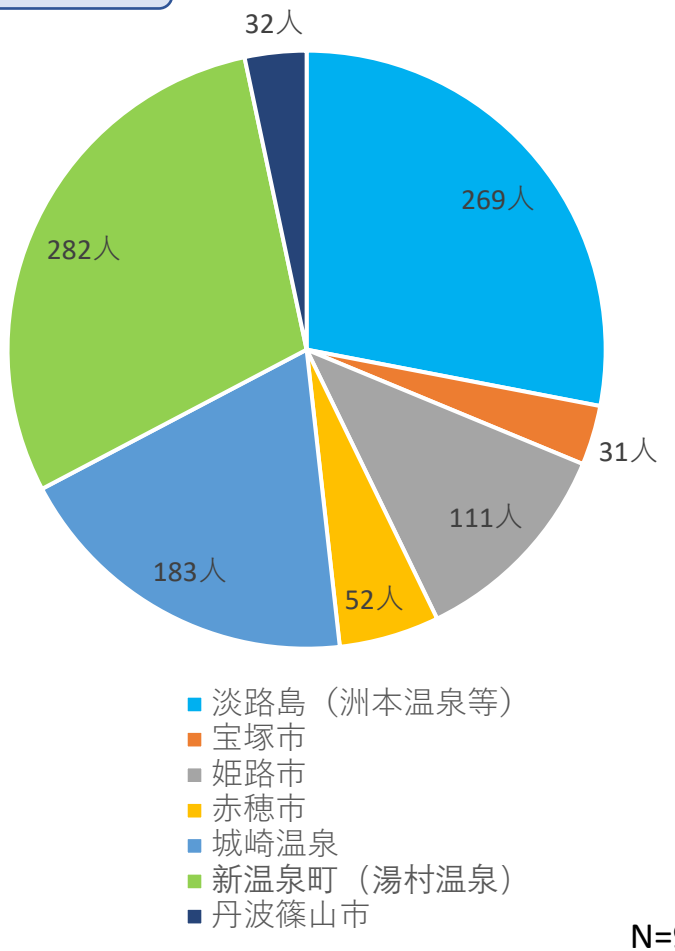
宿泊の有無

宿泊の有無



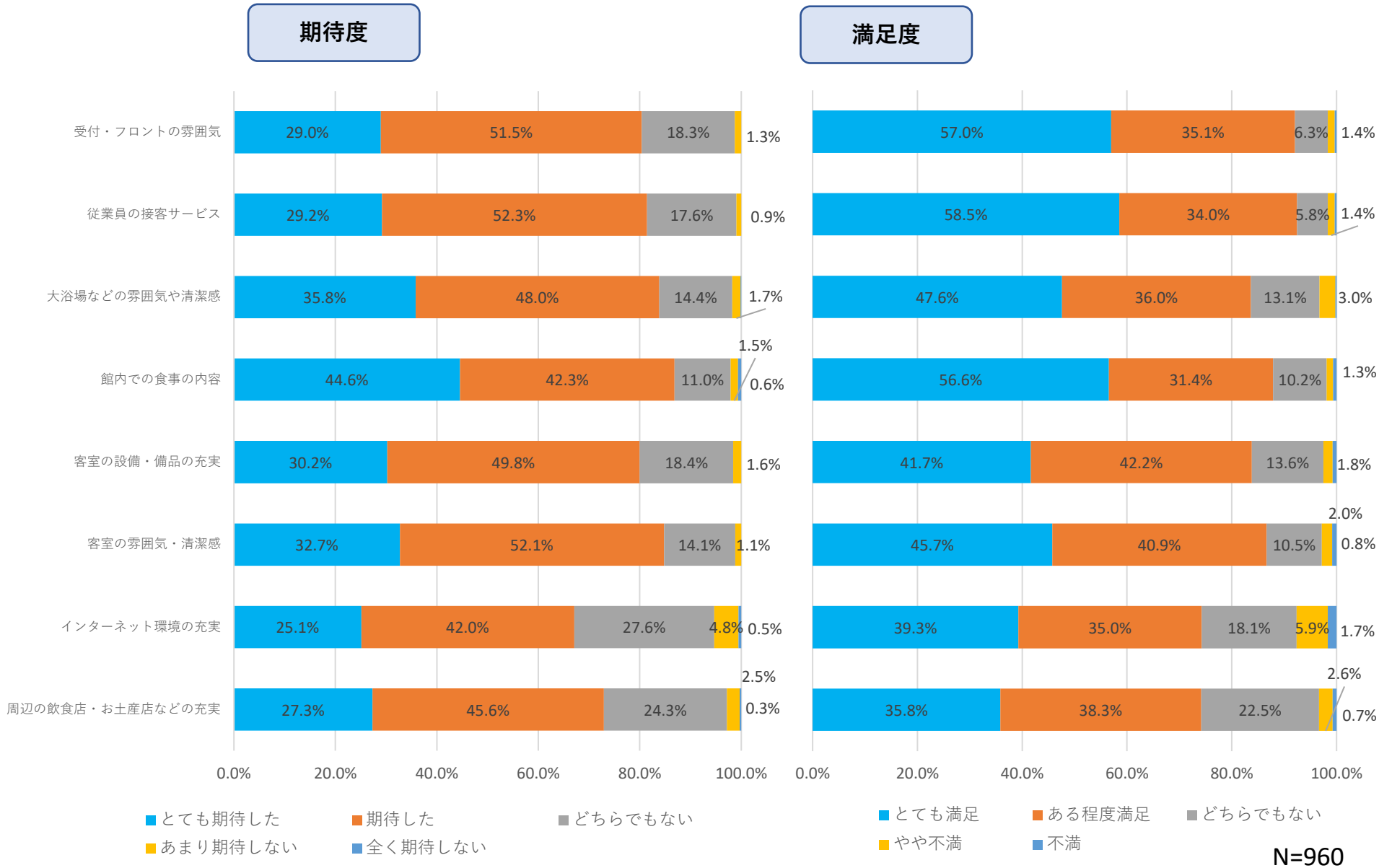
N=1,287

宿泊場所



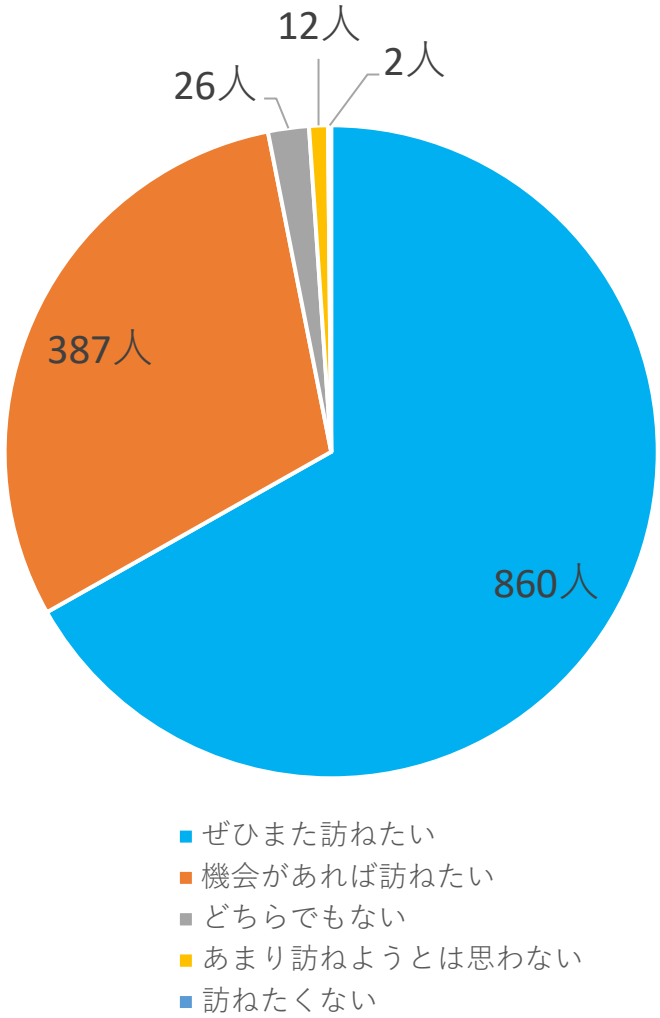
N=960

宿泊施設への期待度・宿泊施設の満足度



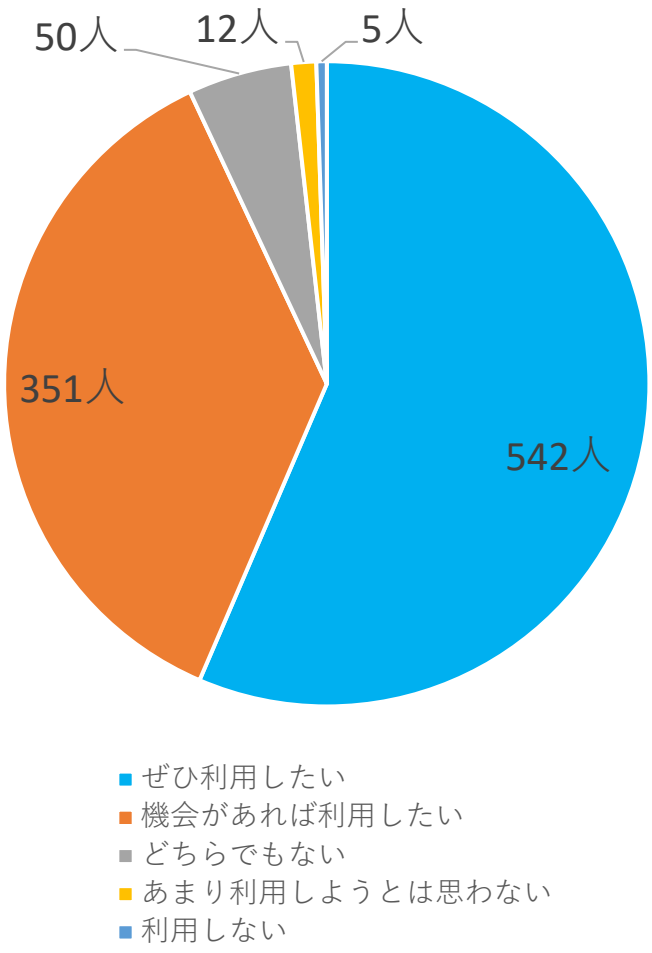
再訪意向

地域への再訪意向



N=1,287

宿泊施設への再訪意向



N=960